

Activity Report



2015 JUNE

NEWS

●株式会社カスノモーターサイクル様よりセラミックカーボンブレーキパッドを1台分（4キャリパー分）ご支援して頂きました。次回の試走で早速使用させて頂き、ブレーキのフィーリング、また制動力向上に役立たせて頂きます。株式会社カスノモーターサイクル様、この度は誠にありがとうございました。

また、株式会社カスノモーターサイクル様には新規にスポンサーになっていただきました。今後もよろしくお願い致します。[\(FaceBookでの紹介\)](#)



●有限会社 CAST 様より副資材を協賛価格にて提供していただきました。エアロパーツの製作に役立たせて頂きます。有限会社 CAST 様、この度は誠にありがとうございました。

また、有限会社 CAST 様には今年度の新規にスポンサーになって頂きました。今後もよろしくお願い致します。[\(FBでの紹介\)](#)



●ディーエイチ・マテリアル株式会社様より不飽和ポリエステル樹脂「サンドーマ」の無償支援を再びして頂きました。これを最後のエアロパーツであるサイドポンツーンの GFRP 積層に使用します。ディーエイチ・マテリアル株式会社様、この度は誠にありがとうございました。[\(FBでの紹介\)](#)



●HILLTOP 株式会社様に無償にて加工して頂いたアウト LSD ケースが納品されました。4月1日に納品して頂いたアウト LSD ケースはドレイン部を金属パテで接着しておりましたが、5月10日の試走にてドレイン接着部よりデフオイル漏れを発生させてしまったため、今回新たに設計変更を加え LSD ケースの加工を依頼させて頂きました。納品された製品の美しさにメンバー一同驚嘆しておりました。HILLTOP 株式会社様の技術力の高さを強く感じました。HILLTOP 株式会社様、この度は誠にありがとうございました。今後もよろしくお願い致します。[\(FBでの紹介\)](#)



NEWS

●20日に日平機器株式会社様からチケットを頂いたオートサービスショー2015へ行ってきました。

オートサービスショーは自動車整備機器の展覧会で、KRTの sponsor 様の中では、日平機器株式会社様と光明理化学工業株式会社様が出展しておりました。

当日は両者様のブースを伺わせて頂きました。日平機器株式会社様・光明理化学工業株式会社様、この度は誠にありがとうございました。今後もよろしくお願い致します。[\(FBでの紹介\)](#)



●20日に株式会社ケーヒン様主催、本田技研工業株式会社様協賛による「燃料供給システムと燃料調整の勘所講座」が本田技研工業青山本社にて開催され、KRTより中島、高木、宮崎が参加させて頂きました。

KRTでは、燃料調整が上手く行えておらず、伸びしろのある分野でございませう。その勘所を探ろうと今回の講座に参加させて頂きました。

講座ではエンジンシステムの基本事項、センサの特性や使用目的、吸気的设计思想、セッティング方法の紹介をして頂き、大変貴重な情報を得ることができました。講師の方々が我々学生に各パーツの存在理由やパーツ間の繋がりに関して、”考える”ことを促して頂いたことでより理解が深まりました。

今回学んだことを踏まえ、大会本番に向けてセッティングを詰めていきます。株式会社ケーヒン様、この度は誠にありがとうございました。[\(FBでの紹介\)](#) [\(全日本学生フォーミュラ大会公式ブログでの紹介\)](#)



NEWS

●21日に弊大学新宿キャンパスにおいて関東学生フォーミュラ連盟・工学院大学主催で車両運動勉強会が開催されました。

KRT がこのような勉強会を開催するのは初めてでしたが、関東だけでなく遠方からの参加もあって予想以上の規模になりましたが、なんとかうまく運営出来たのではないかと思います。講師にお越しいただいた両角 岳彦様、アドバイザーにお越し頂いた審査員の方々そして学生フォーミュラ OBの皆様、この度は誠にありがとうございました。(FBでの紹介)

また、全日本学生フォーミュラ大会の公式ブログに当日のレポートを掲載していただきました。ぜひご覧ください。(全日本学生フォーミュラ大会公式ブログでの紹介)



●株式会社ソーシオ様から御中元としてカップヌードルを頂きました。メンバーでおいしく食べさせて頂きました。

株式会社ソーシオ様、この度は誠にありがとうございました。今後もよろしくお願ひ致します。(FBでの紹介)



●スリーエム ジャパン株式会社様より耐熱アルミテープを無償提供して頂きました。CFRP 製品を釜で焼成する際等にアルミテープは非常に役に立ちます。今後のCFRP 製品の製作時等、様々な場面で使用させて頂きます。スリーエム ジャパン株式会社様、この度は誠にありがとうございました。

また、スリーエム ジャパン株式会社様には新規にスポンサーとなって頂きました。今後もよろしくお願ひ致します。(FBでの紹介)



NEWS

●レオ産業株式会社様より廃棄予定であったカラーコーン 60 本とウェイト 120 枚を頂きました。早速 28 日の試走でのコース設営に使用させて頂きました。また、今後の試走でも使用させて頂きます。レオ産業株式会社様、この度は誠にありがとうございました。

また、レオ産業株式会社様には新規にスポンサーとなって頂きました。今後もしょろしくお願い致します。(FBでの紹介)



●KRT の南雲、楠本、早川の 3 名で SPS アンブラコ株式会社様を訪問させていただき、KRT の紹介をさせていただくとともに、スウェーデン製高強度ステンレスボルト「BUMAX」のボルト・ナット・ワッシャを無償支援していただきました。

BUMAX はステンレス製でありながら鋼鉄製ボルトと同じ強度クラスを満たし、ステンレスの強みである耐腐食性だけでなく耐熱性・耐候性にも優れております。学生フォーミュラ車両は大会・試走時に雨に遭うこともあり、今までの鋼鉄製ボルトでは錆が生じることが多々ありました。提供品はラジエータ周りを始め、車両各所で使用させていただきます。

SPS アンブラコ株式会社様が扱っているねじ製品は、BUMAX を含め海上油

田や原子炉、船舶、航空機等重工業製品を中心に様々な場所で使用されており、航空機 B787 に使用されているボルトも見せて頂きました。SPS アンブラコ株式会社様、この度は誠にありがとうございました。

また、SPS アンブラコ株式会社様には新規にスポンサーとなって頂きました。今後もしょろしくお願い致します。(FBでの紹介)



●ヘンケルジャパン株式会社様よりはめ合い用接着剤ロックタイト 638、アクリル接着剤ロックタイト 334、ゼリー状接着剤を無償提供して頂きました。ハブとスタッドボルトのはめ合いに使用させていただきます。ヘンケルジャパン株式会社様、この度は誠にありがとうございました。

また、ヘンケルジャパン株式会社様には新規にスポンサーになっていただきました。今後もしょろしくお願い致します。(FBでの紹介)



6/28 試走報告

工学院大学&横浜国立大学合同試走報告

(非公開)

コストレポート報告

コストレポート報告

先月の報告書で報告した通り、今月はコストレポートの製作を行いました。コストレポートとは車両一台を制作するために材料費、人件費を含めた価格を与えられたテーブルから算出したもので、その安さと正確性に依じて点数になる静的競技です。

今年度は4月初めに予定通りシェイクダウンを行うことが出来たため、全体的にスムーズにコストレポートの製作に取り掛かることが出来ました。

去年度のコストレポートでは正確さを示す「アキュラシ」の点数が0点と散々な結果であったため、今年度は点数向上の為に裏付け資料の制作に力を入れました。今まで図面の作製方法がバラバラであった為、コストリーダーである楠本主導で図面のテンプレートを制作し、これをチームで統一して使用し、なるべくJISに則した図面を作成しました。また、図面では組図を多く設ける事によって、より審査員にわかりやすい裏付け資料を作成することが出来ました。その結果、今年度のコストレポートの合計枚数は去年度の934ページから1001ページとなり、4年連続で過去最高枚数を更新しました。多ければ良いというものでもありませんが毎年コストにかかる熱意が増しているのを感じます。価格自体も去年度のxxxxxドルからxxxドル安いxxxxxドルとなりました。コストダウンしたことにより安さに関するスコアの向上が期待されます。

しかし、下級生への教育不足により一部のメンバーはコストに関する理解が十分でないまま進めてしまい、また上級生の作業量も多かったことから、十分なチェックを行うことが出来なかったため提出間近にミスがいくつか発覚してしまいました。来年度はこれらの反省を活かし、後輩への教育を徹底、作業の分担量を見直し、上級生によるチェック体制の強化を図ることでよりミスの少ないコス

トレポートの制作に当たりたいと思っています。

2015年度 テクニカルディレクタ 高木 智規

●コストレポートの紹介(一部)

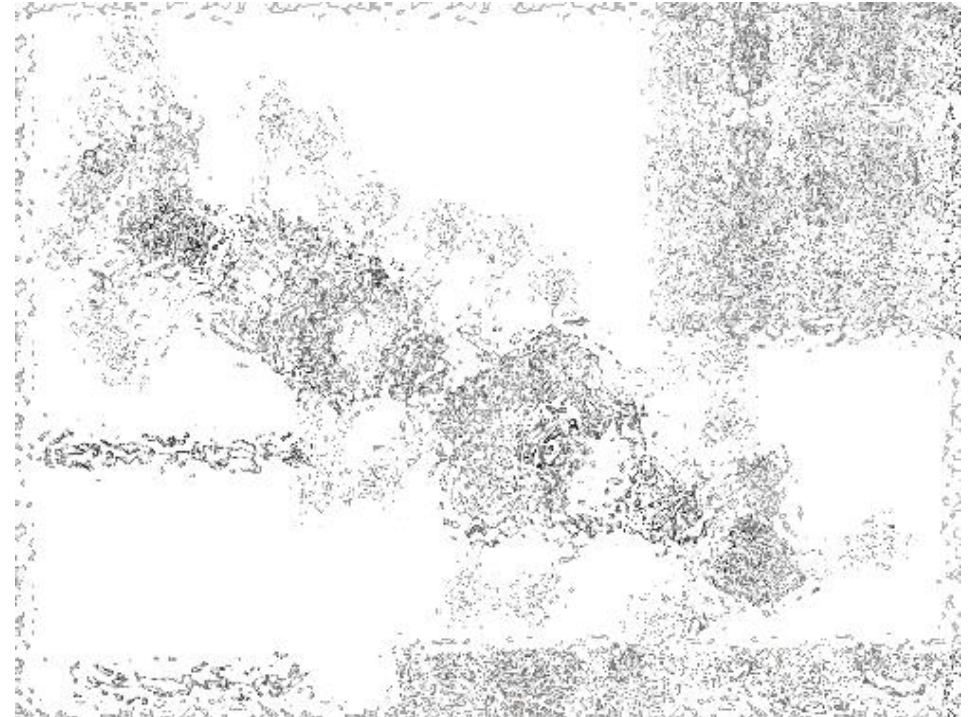


Fig.1 駆動系の組図

コストレポート報告

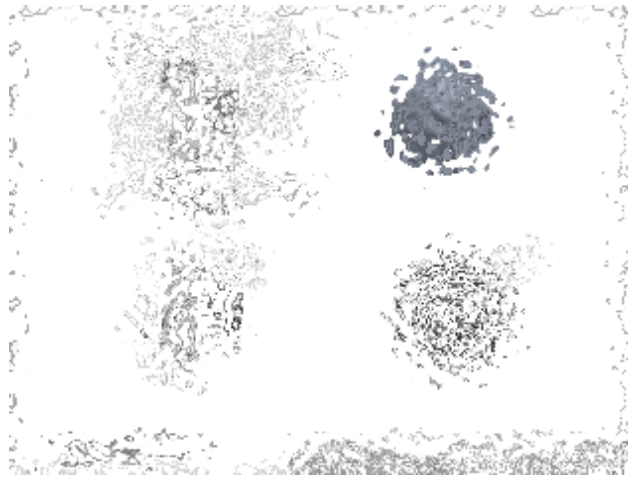


Fig.2 アウタ LSD ケース図面

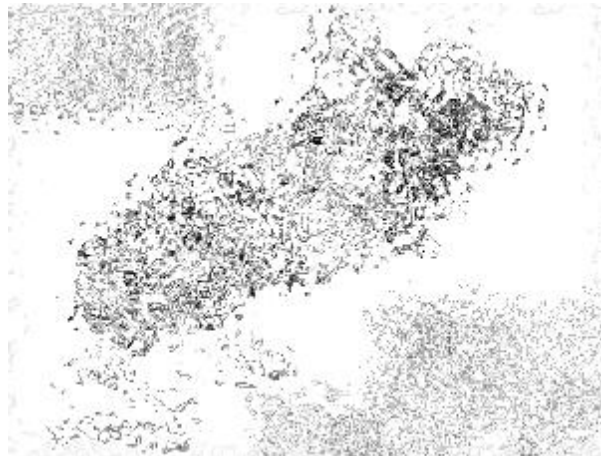


Fig.3 フレーム図面

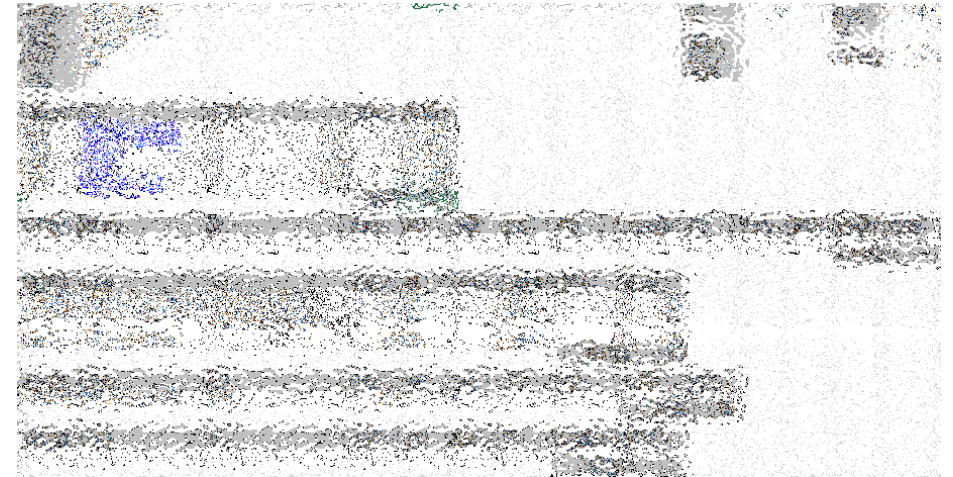


Fig.4 Differential FCA

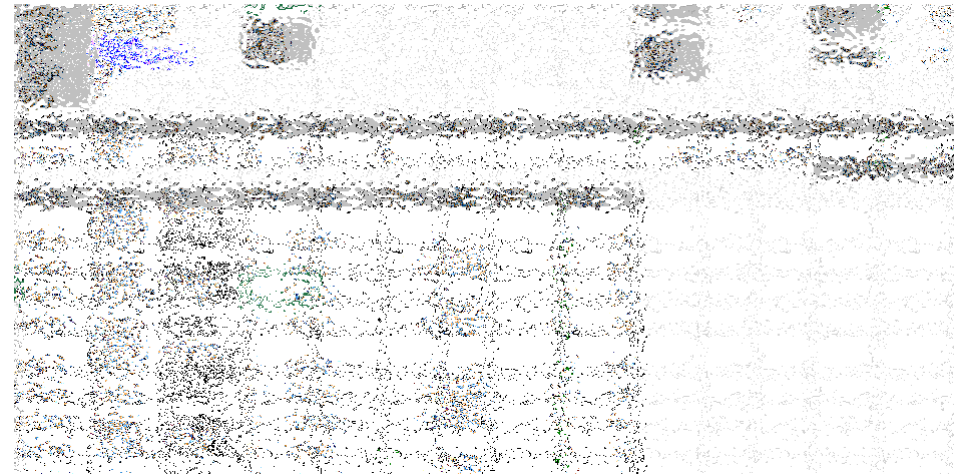


Fig.5 Differential Mount-right

リーダー挨拶

蒸し暑い日々が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。工学院レーシングチーム KRT メンバーは、夏の大会に向けさらに闘志を熱く煮えたぎらせています。

今月の主な活動は、静的審査書類作成と5月10日の試走で発生したトラブルの修正と、6月28日の横浜国立大学様との試走です。多くのメンバーがPCと向き合い、提出期限ぎりぎりまで、必死にレポートの作成・手直しを行い、無事10日にはデザインレポートを、19日には計1001ページにも及ぶコストレポートを提出完了致しました(遅れると大幅減点となります)。コストリーダ楠本は、3日徹夜で作業を行ったこと等から、チーム内でも最も大きな達成感を得たのではないかと思います。報告書にレポートの一部を掲載しておりますのでご覧ください。

一息つく間もなく、20日には株式会社ケーヒン様主催の「燃料調整講座」、21日には弊チーム主催で開催した「車両運動勉強会」、28日には同じく弊チームで主催した横浜国立大学様との合同試走と激動の一个月となりました。中間試験、実験レポート、授業の課題も多く出される中、学生フォーミュラの活動も審査に関わるいくつもの山場の中でも大きな山場を迎え、本当に死ぬのではないかと思います。いながらも、なんとか持ちこたえることができました。そのような苦しみを味わう分、車両が走る姿を見ると、達成感を少しばかり味わうことができます。

28日の試走では右フロントハブの破断により試走中断を余儀なくされたものの、マシンが性能向上が見て取ることができました。ドライバからも好感触を得ております。

私は大会結果のみが我々に対する評価基準であるべきであると考えておりま

すので、今年度は是が非でも過去最高成績を残し大学にチーム力向上を示すことができたと思う所存でございます。

さて7月からは9月の本大会に向け、ラストスパートをかけていきます。試走にてデータを十分に取り、来季のマシンの構想も練りつつ、今大会へ向けて車両性能向上の為にできることがあることを見つけ、計画し、チームで共有し実行する作業を実直に行う所存でございます。今後のKRTの飛躍にご期待ください。

2015年度チームリーダ 中島 亮平

テクニカルディレクタ挨拶

近頃は先月より涼しいと思えるような日が続いております。涼しいのは心地よくて良いのですが、そろそろ夏らしさも実感したいな、と個人的に思っております。

さて、チームの全体的な進行状況をお伝えします。今月はデザインレポートとコストレポートの2つの大会提出書類の提出締め切りがありました。また、21日に自動車評論家の両角 岳彦様による車両運動勉強会を弊社チーム主催で行い、28日には関東某所で試走を行うなど非常に忙しい月となりました。

デザインレポートに関して1月中には各担当がある程度書き上げていたのですが修正点も多くあり、またチーム全体で内容の細かな修正案を出し合い微調整を行いながら作成したため、提出がギリギリとなってしまいました。しかし、その事から去年よりも完成度の高いデザインレポートを提出できたと思っております。

両角様の車両運動勉強会ではタイヤやエアロなど車両の運動を左右する要因について非常に有意義な講義をして頂き、また講義の後に他大学を交えてのディスカッションを行うことで様々な技術交流を図ることが出来ました。

28日の試走では事前準備が整わず慌ただしい出発になってしまいました。また搭載予定であったエアロパーツも製作の遅れや連絡の不手際等でノーズのみの搭載となってしまいました。そして、走行中に右フロントハブが破断し車両からホイールが外れてしまう事態が発生し、午前中のうちに走行中止となってしまったため非常に悔しい思いをしました。しかし、幸いドライバである八島には怪我がなく、また車両にもハブ以外には大きな破損がなかったため比較的容易に復旧可能な状態です。

7月の後半には期末試験も始まるので学業も忙しくなりますが、7月中にエアロパーツを完成させ、8月初めのエコパ試走ではフルエアロを搭載した完全な状態の車両を走らせる予定です。そして大会本番までの後2ヶ月間、車両の更なる性能・信頼性の向上に努めていきたいと思っております。

2015年度 テクニカルディレクタ 高木 智規

Calendar

今月のカレンダー

6月2日	ミーティング
6月9日	ミーティング
6月9日	デザインレポート提出完了
6月10日	デザインレポート提出期限
6月19日	コストレポート提出期限・提出完了
6月20日	ケーヒン様・燃調講座参加
6月20日	オートサービスショー見学
6月21日	車両運動勉強会(新宿キャンパス)
6月23日	ミーティング
6月28日	北関東試走
6月30日	ミーティング

来月の予定

7月2日	SPSアンブラコ様訪問
7月7日	ミーティング
7月12日	エコパ試走
7月14日	ミーティング
7月21日	ミーティング
7月28日	ミーティング

Powertrain

■活動報告

●駆動

5月10日の試走でデフオイル漏れが発生したことから、新しくドレイン部を設計し直し、HILLTOP 株式会社様のご協力により新アウト LSD ケースを完成させました。旧アウト LSD ケースでは先月の報告書で報告させて頂きましたように、ドレイン部を金属パテで本体と接着しており、劣化により漏れが生じてしまいました。重要パーツを金属パテで接合するという甘い考え、間違った考えを改め、再設計した次第でございます。6月28日(日)の試走では漏れはなく、

(今後の KRT にて、例えば私が社会人になった後も永く使用されるかどうかは分かりませんが) とても良いモノができたと自負しております。ケース内には、精度良く、Oリングの溝が掘られており、ドレイン部一体成型も、HILLTOP 様の5軸マシニング高い技術なしではなしえませんでした。ご協力誠にありがとうございました。



Fig.1 新アウト LSD ケース

2015 年度パワートレイン班リーダー 中島 亮平

●燃料タンク

先月報告した 1 way バルブを設けた燃料タンクの製作を行いました。6月28日の試走に向け製作を行いました。完成した後に組み付け・動作確認を行ったところ、純正の燃料ポンプを使用しているにもかかわらず燃圧が十分に上昇しなかった為、点火を行うことができませんでした。試走間近であった為、急遽前回使用した燃料タンクを組み付ける事になってしまいました。燃圧の上がらなかった原因で一番考えられるのは、燃料ポンプとフューエルラインジョイントとの接合部の製作精度があまり良くなく、シールしきれなかったためにそこから圧力が逃げたと考えております。まずは、原因の究明を行い7月12日の試走に向けて修正を行って参ります。



Fig.新規燃料タンク

■今後の活動

- ・燃料タンク修正
- ・カーボンインテーク製作
- ・改良マフラ製作

Suspension

■活動報告

今月の足回り班の活動は、コストレポート製作・提出と 28 日の試走に向けての準備を行いました。コストレポートについては例年と形式が変わり、多少書類の製作に苦戦をしましたが、無事期日に提出することができました。

試走についてなのですが、前回の試走の反省を踏まえ、早めにエア抜きや組み付け終わらせ、余裕の持てる状態にすることが出来ました。試走場に着き、朝のチェック走行から戻ってきた車両の点検を行ったところ、ブレーキのブリーダーボルトからフルード漏れを確認したので増し締めをしたところ、ブリーダーボルトが折れるというトラブルが起きたため応急処置をしたのですが、その際エアが入ってしまった様で、リアブレーキの効きが弱くなってしまいました(Fig.1)。

車両のフィーリングについて、サスペンションはコーナー入口のステアの切りはじめでは回答性が良いが、そこからクリッピングポイントまでの区間でアンダーステアとのドライバーからの意見がありました。原因としてはリアの車高が低かったため車両の重心が車両後方よりになり、前輪の荷重が抜け、アンダーステアになったと考えております。フロントブレーキについては全く問題がなく、株式会社カスノモーターサイクル様から提供していただいたカーボンセラミックパッドの制動力の高さを感じる事が出来ました。

ブレーキのフィーリングについてはパッドがローターに当たってからロックするまでの踏みしろが少ないとドライバーから意見をもらいました。これについては次回の試走までに改善したいと考えております。

試走の午前中の最後の走行の際、右フロントハブが破断し、弊チームの走行

2015 年度足回り班リーダー 坂本 悠馬

は中止となってしまいう最悪な結果となってしまいました(Fig.2, Fig.3)。原因としては設計する際の解析条件が誤った方法で行われていたため、これによる強度不足により破断してしまったと考えております。フロントハブの再設計は試走が中止になった後、会場で解析条件を見直し、翌日から再製作を始めております。次回の 7/12 に静岡県のエコパで行われる合同試走会までに間に合わせ、信頼性の高い車両をめざしたいと思います。



Fig.1 問題のあったブレーキ (キャリパー側)



Fig.2 破断したハブ(車体側)

Fig.3 破断したハブ(ホイール側)

Suspension

2015 年度足回り班リーダー 坂本 悠馬

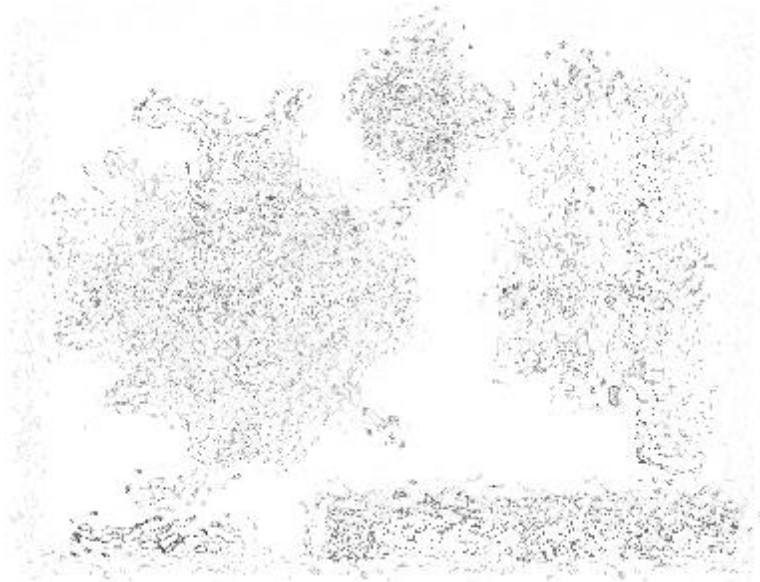


Fig.4 再設計したハブ

■今後の活動

- ・ハブの再製作
- ・部品の損傷確認(クラッシュによる)

Frame

■活動報告

今月は大会提出資料（デザインレポート、コストレポート）の作成、提出が主になりました。大会提出資料の反省ですが、コストレポートは昨年度に比べ、裏付け資料（図面）にこだわり、見栄えの良いものになったのではないかと考えております。しかし後輩の図面製作能力が追い付かず、結局は自分が作成してしまい、日程管理が難しかったことと、大会提出資料の技術伝承を今年行えなかったことが心残りであります。フレーム班のデザインレポートはまだまだ上位チームと肩を並べる出来栄でないことが悔しく、自分の勉強不足を痛感いたしました。

2015年度大会まで残り2ヵ月と少しになりましたが、同時に来年度の準備を行う時期でもあります。フレーム班は現在、残りのステイの製作とリアセクションの剛性不足の改善を行っております。リアセクションの改善は、追加ブレースを入れる方針で2年生が解析、設計を行っております。軽量かつ剛性の高いブレースの入れ方、パイプ選びが考えさせられますが、最後までやりきり来年度の自信につながればと考えています。フレーム班希望の1年生は大会、試走会で車両を移動するのに必要になるプッシュバーの設計、製作を行っております。プッシュバーの製作を通し、設計の難しさ、面白さを知ってもらうこと、材料加工、溶接を経験してもらおうと考えています。

チームを強くしていくには、環境づくりも大事なのだと大会提出資料の作成を通して実感しました。そのため、7月は1年生向けのコスト勉強会の開催を予定しており、フレーム班内では来年度の wheel を 13inch から 10inch に換えるとしたらどのようなメリット、デメリットがあるかを話合う予定です。また、皆がより主体的に活動を行うために勉強会を開催し、ミーティングの議題

2015年度フレーム班リーダー 楠本 裕之

も工夫していこうと考えております。

■今後の活動

- ・ステイ作り
- ・フレームのリアセクションの改善（解析、補強）
- ・解析ソフトの勉強
- ・来年度準備

Interior

■活動報告

今年度、2年生は初めてということもあり、インテリア班はコストレポート提出期日当日まで修正作業に追われていました。なんとか無事提出でき、安心しています。

コストレポートが終わって一息つく間もなく、試走会の準備を行いました。試走会では様々な改善点が見つかったので大会までには改善する予定です。



Fig.1 試走で装着したステアリングホイール

2015 年度インテリア班リーダー 森 健太

■今後の予定

・ステアリングホイールの製作を進めます。思うように製作が進んでいないので、急いで完成させていきたいと思います。

Aerodynamics

■活動報告

今月は大会提出書類の製作に追われていました。例年にはないほど内容の濃い素晴らしいレポートが完成したと思っています。

また、サイズの大きいカーボン製品がだんだんと完成してきています。昨年度は製品に凹みがありましたでしたが、本年度の製品は型通りの綺麗な製品が完成しました。



Fig.1 ノーズ



Fig.2 ミドルセクション (肩付近のカウル)

2015 年度エアロ班リーダー 遠山 良太

ウイングの表皮も完成してきています。形状が 3D なので、積層作業に一層慎重さが求められますが、これまでの経験により難なく完成できました。早く車両に搭載できるよう製作を行っていきたいと思っています。

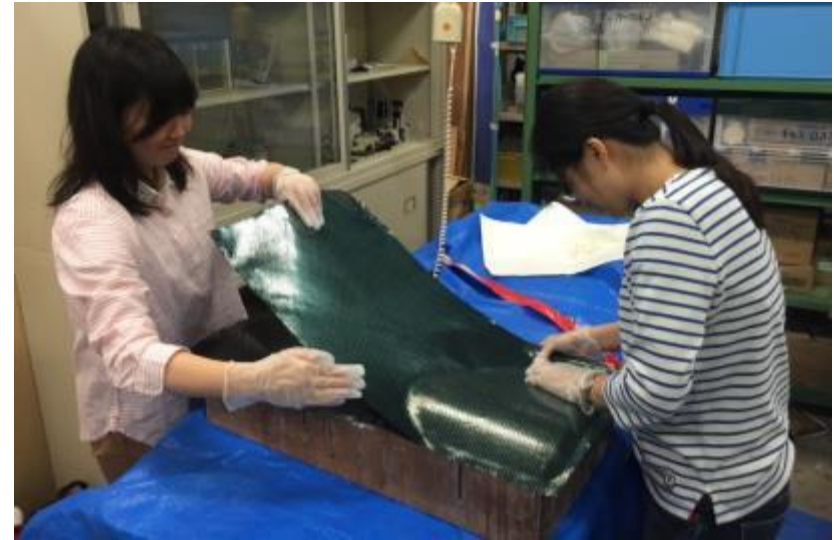


Fig.3 ウィング積層の様子

■今後の予定

- ・カーボン製品の成型
- ・エアロパーツの組立
- ・塗装の前処理

Sponsors

私たち KRT は、多くのスポンサー様に支えられ、活動しております。ご支援頂いております皆様に、厚くお礼申し上げます。

株式会社 IDAJ 様
株式会社 アネブル様
株式会社 五十嵐プライヤー様
株式会社 石川工業様
株式会社 エッチ・ケー・エス様
株式会社 エフ・シー・シー様
株式会社 江沼チエン製作所様
株式会社 カスノモーターサイクル様
株式会社 カナエ様
株式会社 キジマ様
株式会社 キタコ様
株式会社 兼古製作所様
株式会社 共和電業様
株式会社 神戸製鋼所様
株式会社 古寺製作所様
株式会社 佐鳴様
株式会社 ジーエイチクラフト様
株式会社 JSP 様
株式会社 スリーピークス技研様
株式会社 ステンレス商事様
株式会社 スポーツランドやまなし様
株式会社 ソーシオ様
株式会社 高池様
株式会社 ディクセル様
株式会社 電通国際情報サービス様
株式会社 東京オールアンドデー様
株式会社 東京オールアンドデーコンポジット様
株式会社 日本ヴァイアグレイド様

株式会社 ノジマエンジニアリング様
株式会社 ハイレックスコーポレーション様
株式会社 ピスコ販売様
株式会社 プロト様
株式会社 深井製作所様
株式会社 富士精密様
株式会社 不二 WPC 様
株式会社 VSN 様
株式会社 プロテクタ様
株式会社 マルト長谷川工作所様
株式会社 ミノルインターナショナル様
株式会社 ムトーエンジニアリング様
株式会社 リバティウォーク様
エイティーエス株式会社様
エス・ピー・エス アンブラコ株式会社様
NOK 株式会社様
NOK クリューバー株式会社様
NTN 株式会社様
呉工業株式会社様
光明理化学工業株式会社様
三協ラジエーター株式会社様
スリーエム ジャパン株式会社様
象印チェンブロック株式会社様
ソリッドワークス・ジャパン株式会社様
タカエンジニアリング株式会社様
タカタサービス株式会社様
田中工業株式会社様
THK 株式会社様

ディーエイチ・マテリアル株式会社様
テクノイル・ジャポン株式会社様
東北ゴム株式会社様
東洋電装株式会社様
特殊技研株式会社様
トップ工業株式会社様
鍋屋バイテック会社様
ニコル・レーシング・ジャパン株式会社様
日産スプリング株式会社様
日信工業株式会社様
日新レジン株式会社様
日平機器株式会社様
ハンマーキャスター株式会社様
HILLTOP 株式会社様
富士重工業株式会社様
ヘンケルジャパン株式会社様
本田技研工業株式会社様
松井精密工業株式会社様
レオ産業株式会社様
有限会社 オートスタッフ様
有限会社 CAST 様
有限会社 トップラインプロダクト様
有限会社 佐々木工業様
有限会社 須佐製作所様
工学院大学機械系同窓会
工学院大学学生フォーミュラOB会

Sponsors

私たち KRT は、多くのスポンサー様に支えられ、活動しております。ご支援頂いております皆様に、厚くお礼申し上げます。



[Kogakuin Racing TeamのFacebookページ](#)は毎日更新中です。

(Facebookに登録されていなくても更新の確認は可能です。)ぜひご覧ください!

■発行元

〒192-0015東京都八王子市中野町2665-1

工学院大学学生フォーミュラ

広報部 南雲 活広・吉村 慎太郎

Mail(南雲) a113121@ns.kogakuin.ac.jp

URL <http://www.ns.kogakuin.ac.jp/~wwa1032/>

※会報に関するご意見、ご要望、ご質問等はお手数ですが上記までお願い致します。

2015年全日本学生フォーミュラ大会のお知らせ

第13回 全日本 学生フォーミュラ大会	
主催	公益社団法人 自動車技術会
日時	2015年9月1日(火)~5日(土) (5日間)
場所	静岡県掛川市・袋井市 小笠山総合運動公園(エコパ)
入場料	無料

今年は90チームがエントリーし、工学院レーシングチームはカーナンバー20で出場します。大会での活躍にぜひご期待ください。ご来場お待ちしております。